

夏休み中に「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」が発令され、いくつかの台風が上陸したりと、今年ほど自然災害に敏感になった夏休みは初めてでした。実際、能登地震は、お盆の元旦に起こるなど、自然は人間の営みに合わせてはくれません。

大事なものは、むしろに備えての準備。備蓄しておく「モノ」はもちろん、できる「コト」を確認しておきましょう。どうしても緊急時はパニックになってしまうのが、これだけやってあれば大丈夫という気持ちが必要なのよ。

普段の生活での発表や話し合いと同じであらう。

もしも真夏に災害が発生して、断水になってしまったら...
飲料水と調理用だけで1人1日あたり3Lも必要と言われています。食料と共に自宅の水の確保をしましょう!



毎月1日と15日に体験できます。お家の人と一緒に体験しましょう。

災害用伝言サービス

災害時、電話が繋がらない時に無料で利用できます。

171(電話番号)

- 録音 ●再生

1

ガイダンスに従い録音

2

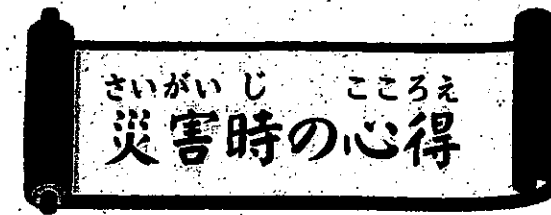
メッセージ再生

Web171(インターネットから)

- 電話番号を入力し「登録」「確認」を選択

案内に従って伝言を「登録」

表示された情報を「確認」



その1 どのトイレでも入れるようにすべし!

災害時、停電や断水になるとふだん使っているトイレは使用できなくなります。災害用の簡易トイレとして和式トイレを使わなければならない場合もあるので、いざという時のために普段から和式トイレが使えるようにしておきましょう。しゃがむ練習をしておくといいですね。

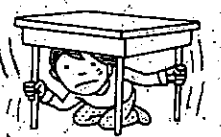
その2 ラジオの使い方を学べし!

災害時、スマホなどから得た情報の中には誤ったものやデマが含まれていたことが過去にもありました。また、通信状況が悪い場合も考えられます。災害時に正確な情報を得るためにはラジオが有効です。ラジオが家にある場合は、家の人と使い方を練習してみましょう。また、公衆電話のかけ方も知っておくといいですね。



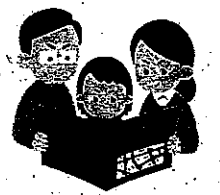
その3 もぐり方のコツを知るべし!

「地震がきたら机の下にもぐる」というのは常識ですが、ただもぐるだけでは不十分なことを知っていますか? 机の下にもぐったら、机の脚をしっかりとって、机から体が出ないようにしましょう。対角線上にある脚を持つことがベストです。



その4 集合場所を話し合うべし!

地震が起きた時、いつも家や学校にいるとは限りません。また家の中に入れる状況ではない場合もあるかもしれません。そんな時、どこに集合するか家族で話し合っておくことがとても大切です。



地震が起きた時あわてないように、普段から備えておくことが大切だね。